

令和6年度事業報告について

延べ宿泊者数がコロナ禍前の水準に回復し、インバウンド需要の増加に伴い訪日外国人旅行消費額も大きな伸びをみせるなど、観光を取り巻く環境に明るい兆しがみえる中、当機構では、中期経営計画及びDMO形成計画に基づき、県内自治体や関係団体・事業者の皆様と連携しながら各種事業に取り組みました。

公益目的事業のうち観光振興分野では、本県ならではの魅力を生かした観光コンテンツの開発、ビジネス需要の獲得に向けたMICEの誘致活動や教育旅行の需要の獲得など国内誘客の促進に取り組むとともに、台湾や韓国をターゲットとした海外からの誘客促進に取り組みました。

また、青森県観光物産館アスパムを活用した四季折々のイベント・プロモーション等により、本県の観光・物産の魅力の発信にも取り組んだところです。

国際交流分野では、県民の異文化理解を深めるための交流事業を実施するとともに、県内在住の外国人の方々の暮らしに必要な情報提供や相談対応、日本語教室の開催や日本語指導サポーターの養成等に取り組みました。

収益事業については、貸会議室やテナント賃貸事業、駐車場の管理運営等を実施し、光熱水費の高騰をはじめ維持管理コストが増加傾向にある中、収益性の向上や運営経費の節減に取り組むなど、効率的・効果的な運営に努めたところです。

〔公益目的事業〕

1 観光振興・青森県観光物産館管理運営事業

(1) 開発推進事業

① 観光開発推進事業

県内DMO・観光協会や宿泊施設等の県内観光関連事業者と連携して、観光コンテンツの充実及びブラッシュアップを図りながら、旅行商品を開発した。

◆開発商品数 23 商品



奥入瀬溪流満喫プラン



冬の高山稲荷神社参拝プラン

② 宿泊施設魅力向上対策事業

観光客の宿泊利用促進を図るため、アドバイザーを活用し、宿泊施設の魅力向上策の検討を行うとともに、その取組を実施した。

- ◆アドバイザーによるコンサルティング 2 施設
- ◆アドバイザーによる現地指導 各 10 回

③ 教育旅行誘致事業

ア 教育旅行誘致促進連絡会議の開催

教育旅行誘致に係る取組についての情報共有及び課題整理・解決に向けた検討を行うため、県内関係者による連絡会議を開催した。

- ◆開催日 令和 6 年 5 月 30 日、令和 7 年 3 月 4 日
- ◆開催場所 青森市（青森県観光物産館アスパム）

イ 教育旅行セミナーへの参加及び資料提供（県委託事業）

本県への教育旅行誘致促進のため、各種教育旅行セミナーへ参加し、旅行エージェントや学校関係者へ教育旅行に関する情報提供を行った。

- （ア）東北教育旅行誘致セミナー（札幌会場）
 - ◆開催日 令和 6 年 7 月 9 日
- （イ）東北教育旅行誘致セミナー（東京会場）
 - ◆開催日 令和 6 年 7 月 18 日
- （ウ）第 41 回全国修学旅行研究大会（東京都）
 - ◆開催日 令和 6 年 7 月 23 日

ウ 教育旅行促進強化事業（県委託事業）

県内関係者とともに、旅行エージェントや学校関係者を訪問する教育旅行キャラバンを実施し、本県の教育旅行プログラムに関する営業活動を行った。

- （ア）北海道（道央地区）教育旅行エージェント・学校キャラバン
 - ◆実施時期 令和 6 年 7 月 10 日～12 日
 - ◆訪問先 札幌市・苫小牧市の旅行エージェント 9 社
札幌市教育委員会及び学校 59 校
- （イ）栃木県（日光市）学校訪問
 - ◆実施時期 令和 6 年 9 月 10 日～11 日
 - ◆訪問先 栃木県日光市中学校 3 校
- （ウ）北海道（道南地区）教育旅行エージェント・学校キャラバン
 - ◆実施時期 令和 6 年 10 月 2 日～3 日
 - ◆訪問先 函館市及び北斗市の旅行エージェント 6 社、小学校 24 校
- （エ）首都圏教育旅行エージェント・学校キャラバン
 - ◆実施時期 令和 7 年 2 月 5 日～7 日
 - ◆訪問先 東京都、千葉県、埼玉県、栃木県の旅行エージェント 27 社
東京都中学校 6 校

エ 現地視察会招請事業（県委託事業）

首都圏の中学校を誘致するべく北海道観光機構と合同で学校関係者を招請し、県内及び北海道道南地域の施設等を視察いただいた。

◆実施時期 令和6年7月25日～27日

◆視察先 青森県内では、ねぶたの家ワッセ、五所川原立佞武多の館、津軽藩ねぶた村を訪問し、地域によるねぶた・ねぶたの違いを説明したほか、津軽三味線の体験や道南地域を視察いただいた。

◆参加者 15名（東京都及び栃木県日光市等の学校関係者）



オ 教育旅行誘致資料の作成

教育旅行ガイドブック及びプレゼン資料合計1,100部を作成し、東京都の中学校約600校へ発送した。

カ 教育旅行受入状況調査の実施

県内宿泊施設に対して、教育旅行による宿泊実績調査を実施した。

④ コンベンション誘致事業

ア コンベンション誘致促進連絡会議の開催

コンベンション誘致に係る取組についての情報共有及び課題整理・解決に向けた検討を行うため、関係者による連絡会議を開催した。

◆開催日 令和6年5月30日

◆開催場所 青森市（青森県観光物産館アスパム）

イ あおもり MICE 誘致活動事業（県補助事業）

国際MICEエキスポ（IME2025）へ出展したほか、県内大学やコンベンション主催団体等を訪問し、本県支援制度等について説明を行った。

（ア）コンベンション誘致に向けた大学・団体等訪問

◆時期 令和6年11月、令和7年2月

◆場所 青森県内、東京都内

◆件数 県内大学7件・首都圏MICE主催者等10件

（イ）国際MICEエキスポ（IME2025）出展・団体等訪問

◆時期 令和7年2月

◆場所 東京都内

◆件 数 首都圏MICE主催者・旅行エージェント等 10 件



ウ 大規模 MICE 開催費助成事業（県委託事業）

本県でのコンベンションの開催を促進するため、コンベンション主催者に対し、開催経費の一部を助成した。

◆助成件数 16 件

◆助成金額 8,000 千円

◆県外からの延べ宿泊者数 6,430 人

（２）情報発信事業

① 観光キャンペーン推進事業

ア 青森県観光ガイドブックの作成

本県へのより一層の観光客誘致促進、観光消費額の拡大を図るため、自然や食、温泉、祭り等、旬の観光情報を紹介する「あおり紀行（青森県観光イベントガイドブック）」（以下「あおり紀行」という）を作成し、関係箇所への配布・PRを行った。

◆「あおり紀行」2024 夏・秋号

令和 6 年 5 月発行 13 万部＋電子書籍版

◆「あおり紀行」2024 通年版（Web 版）

◆「あおり紀行」2025 冬・春号令和 6 年 10 月発行 13 万部＋電子書籍版



2024 夏・秋号



2024 通年版（Web 版）



2025 冬・春号

イ 観光イベント等への参画

羽田エアポートガーデン東北物産展やNEXCO 東日本主催「ハイウェイフェスタ」、大宮駅青森産直市等に参画し、観光コーナーの設置やステージ等を通じた観光PRを行った。

(ア) 大宮駅青森産直市

- ◆期 間 令和6年6月22日～23日
- ◆場 所 JR大宮駅
- ◆内 容 観光ブースの設置、観光PRステージ

(イ) 羽田エアポートガーデン東北物産展

- ◆期 間 令和6年7月27日～28日
- ◆開催場所 羽田エアポートガーデン
- ◆内 容 観光ブースの設置、観光PRステージ

(ウ) ハイウェイフェスタとうほく2024

- ◆期 間 令和6年9月22日～23日
- ◆開催場所 仙台市勾当台公園
- ◆内 容 観光ブースの設置、PRステージ

(エ) ツーリズム EXPO ジャパン 2024

- ◆期 間 令和6年9月26日～29日
- ◆開催場所 東京ビックサイト
- ◆内 容 観光ブースの設置、ねぶた衣装着付け体験PR

(オ) 松屋銀座観光PR

- ◆期 間 令和7年1月18日～19日
- ◆開催場所 松屋銀座
- ◆内 容 観光ブースの設置、観光PRステージ

(カ) 宿フェス 2025

- ◆期 間 令和7年2月5日～6日
- ◆開催場所 東京ビックサイト
- ◆内 容 観光ブースの設置



ハイウェイフェスタ（仙台市）



大宮駅産直市（埼玉県）

ウ 観光セミナーの開催

首都圏からの誘客を促進するため、県と共同で旅行エージェント、メディア等を対象とした観光セミナーを開催し、本県観光のPR及び商談会を実施した。

- ◆時 期 令和6年9月9日
- ◆場 所 東京都内
- ◆参 加 者 首都圏の旅行会社・マスコミ関係者等 約150名



エ AOMORI GOKAN アートフェス 2024 と連動したメディアファムツアー

実施業務（AOMORI GOKAN アートフェス 2024 実行委員会委託事業）

令和6年4月13日から9月1日まで開催した「AOMORI GOKAN アートフェス 2024」と連動し、アートを切り口に本県観光の知名度の向上を図るためメディアを招請したファムツアーを実施し、行程作成、各種手配、アテンド業務等を行った。

- ◆期 間 1回目 令和6年4月12日～13日
- 2回目 令和6年4月25日～27日



青森県立美術館（青森市）



弘前れんが倉庫美術館（弘前市）

② 観光情報ネットワークシステム運営事業（県委託事業）

本県を訪れる観光客等が観光情報をインターネットにより入手できるよう県・市町村等と連携し、青森県観光情報サイト「Amazing AOMORI」の運営・管理を行った。

- ◆情報更新件数
約280件
- ◆閲覧件数
約559万ページビュー



- ③ 兵庫県との航空路線を利用した相互送客連携
兵庫県域をエリアとする地域連携 DM0 である
「ひょうご観光本部」と連携し、メールマガジ
ン配信等を行った。



(3) インバウンド対策事業

① あおもりグローバルラウンジ運営事業

周遊観光を促進するため、来県された国内外の観光客に対し、多言語による観光案内・情報発信等のサービスを行った。

◆実施内容

- ・多言語（日本語・英語・中国語・韓国語）による、県内全般の観光案内
- ・県内全般の観光パンフレット、観光 RR パネルの設置
- ・SNS を活用した情報発信

◆案内件数

2,500 件

◆SNS 情報発信回数

80 回（フォロワー数：約 9,300 人）

② 国際観光推進連絡会議の開催

インバウンド誘致など国際観光の推進に係る取組について、情報共有を図るとともに課題整理・解決に向けた検討を行うため、関係者による連絡会議を開催した。

◆開催日 令和 6 年 5 月 30 日

◆開催場所 青森市（青森県観光物産館アスパム）

③ 韓国誘客対策強化事業（県委託事業）

青森・ソウル線を利用する韓国からの誘客促進を図るため、韓国旅行エージェント等と連携した観光プロモーションやファムツアーのほか、韓国クルーズ船のお出迎えを行った。

ア 韓国旅行エージェントファムツアー

◆実施時期 令和 6 年 5 月 11 日～13 日

◆訪問地域 平内町、青森市、十和田市

◆招 請 者 韓国旅行エージェント
(ゴルフ関係) 3 名



イ 韓国旅行エージェントファムツアー

◆実施時期 令和6年5月23日～25日

◆訪問地域 青森市、十和田市、弘前市、平川市

◆招請者 韓国旅行エージェント1名、旅行代理店10名



ウ 韓国旅行エージェントファムツアー

◆実施時期 令和6年7月4日～6日

◆訪問地域 青森市、平内町、平川市、大鰐町

◆招請者 韓国旅行エージェント（ゴルフ関係）3名



エ 広告支援金の交付

（ア）韓国からの観光客の誘客拡大を図るため、青森への旅行商品の販売促進に係る経費の一部を助成した。

◆支援商品 直行便の往復利用による韓国発青森旅行商品

◆支援先 韓国旅行エージェント 延べ11社

（イ）韓国人観光客の誘客拡大を目的として、青森県の寄港に結実した韓国発のクルーズ船商品の販売促進に係る経費の一部を助成した。

◆支援先 韓国旅行エージェント 1社

（ウ）韓国からの観光客の誘客拡大を図るため、大韓航空が行うプロモーションに係る経費の一部を助成した。

◆支援先 大韓航空

オ 韓国クルーズ船出迎え

令和6年9月15日に青森港新中央埠頭に寄港した韓国発のクルーズ船「コスタ・セレーナ号」の出迎えを行った。



④ 「北東北三県・北海道ソウル事務所」運営事業（県委託事業）

韓国からの観光客誘致を推進するため開設した「北東北三県・北海道ソウル事務所」の運営に参画し、商談会等の各種事業を実施した。

ア 第11回日韓フォトコンテスト後援

◆応募期間 令和6年7月22日～9月8日

イ 北東北3県・北海道 韓国オンライン観光商談会

◆開催日 令和6年10月7日～11月29日

◆参加者 青森県側10団体（オンライン参加）

ウ 韓国バイヤー招請

◆実施時期 令和6年7月4日～6日

◆訪問先 コノハト茶葉店、アスパム、ブナコ西目屋工場、北洋硝子、カブセンター大野店

◆招請者 韓国バイヤー 2名

エ 韓国ファムツアー

◆実施時期 令和6年11月17日～20日

◆訪問地域 青森市、十和田市、おいらせ町、三沢市、八戸市

◆招請者 韓国旅行エージェント2名



オ 韓国バイヤー招請

◆実施時期 令和7年2月2日～5日

◆訪問先 八戸酒造、八食センター、鳩正宗、北洋硝子、エルム、三浦酒造、尾崎酒造、カブセンター

◆招請者 韓国バイヤー 3名



⑤ 台湾人観光客誘客拡大事業（県委託事業）

ア エバー航空チャーター便及び定期便出迎え業務

台湾エバー航空によるチャーター便及び台湾エバー航空定期便の出迎えを行った。

◆実施時期

チャーター便出迎え 令和6年10月7日、11日、15日、19日、23日

定期便出迎え 令和6年10月29日

◆場 所 青森空港



イ 広告支援金の交付

台湾からの観光客の誘客拡大を図るため、青森への旅行商品の販売促進に係る経費の一部を助成した。

◆支援商品 直行便利用による台湾発青森旅行商品

◆支援先 台湾旅行エージェント 延べ27社

(4) 受入体制整備事業

① マーケティング推進事業

ア DMO マーケティング戦略連携会議の開催

県内DMOが実施しているマーケティング分析のほか、各施策についての情報共有及び課題整理・解決に向けた検討を行うため、関係者による連携会議を開催した。

◆開催日 令和6年9月20日

◆開催場所 青森市（青森県観光物産館アスパム）

イ DMOとして設定している数値目標の進捗管理

DMOとして設定しているKPIについて、2023年度の実績を確認するとともに、各事業の実施内容の効果検証や改善に向けた取組の検討を行った。

◆DMO 目標設定及び達成状況

	目標設定（KPI）項目	単位	2023年 目標値	2023年 実績値
ア	旅行消費額	億円	2,000	1,910
イ	延べ宿泊者数	万人泊	550	439
ウ	来訪者満足度	%	100	98.0
エ	リピーター率	%	79.6	64.2

ウ 地域連絡会議の開催

令和7年12月から令和8年3月に開催される青森県函館観光キャンペーンのほか、本県観光振興に向けた情報共有を図るとともに、課題整理・解決に向けた検討を行うため、県内6地域において、関係者による連絡会議を開催した。

◆開催日 令和7年3月11日、12日、17日、18日

◆開催場所 青森市（青森県観光物産館アスパム）、県合同庁舎（中南、三八、西北、上北、下北）

② 「もてなしの心」運動推進事業

ア クリーン大作戦

「第30回青森県春のクリーン大作戦」を「小さな親切」運動青森県本部と共催し、県内各地の環境美化活動を行った。

◆開催日 令和6年4月13日

◆開催場所 県内各地



イ 観光ガイド推進連絡会議の開催

観光ガイド・観光ボランティアガイドに関する情報共有を図るとともに、課題整理・解決に向けた検討を行うため、観光ガイド推進連絡会議を開催した。

◆開催日 令和6年6月7日

◆開催場所 青森市（青森県観光物産館アスパム）

ウ 観光ガイド研修の実施

観光ガイド実務者を対象とした現地研修会を開催し、ガイド団体相互の情報交流やガイドのスキルアップを図った。

◆開催日 令和6年11月28日

◆場所 盛岡市内

◆参加者数 21名

③ 観光案内所連携強化事業

ア 青森県内観光案内所連絡会議の開催

県内観光案内所間のネットワーク強化と情報共有を図り、観光客の受入体制をより一層充実させることを目的として、観光案内所連絡会議を開催した。

◆開催日 令和6年6月28日

◆開催場所 青森市（青森県観光物産館アスパム）

イ 青森県内観光案内所スタッフ現地研修会の開催

県内観光案内所スタッフのスキルアップや観光案内所間の情報共有を図り、更なる観光客受入体制の整備を目的に現地研修会を開催した。

◆時 期 令和 6 年 11 月 19 日

◆場 所 下北半島

④ 観光功労者表彰事業

観光振興に向けた意識の高揚や受入体制の整備を図るため、本県の観光振興に顕著な功績が認められる者を令和 6 年度観光功労者として表彰することを決定した。

ア 個人

あおりくらしの総合研究所	所 長	楠美タヒ（青森市）
津軽藩ねぷた村	理事長	中村元彦（弘前市）
つがる市観光物産協会	会 長	川嶋大史（つがる市）
五戸町観光協会	顧 問	丸山 一（五戸町）

イ 団体

弘前観光ボランティアガイドの会（弘前市）

⑤ 広域観光振興事業

ア 北東北三県観光立県推進協議会の事業への参画

北東北三県観光立県推進協議会に参加し、北東北広域による国内観光の推進を図るとともに、外国人観光客の受入態勢の整備、誘客促進及び PR に努めた。

イ 東北観光推進機構の事業への参画

東北観光推進機構の事業に参画し、広域観光の推進を図った。

⑥ 観光振興事業（県補助事業）

（公社）日本観光振興協会が全国的または重点的に実施する全国広域観光事業に対し、拠出した。

⑦ インバウンド向けウエルカムポスター整備事業

クルーズ船などで本県を訪れるインバウンドのお客様が知りたい各店舗の情報をまとめたウエルカムポスターを制作し、青森市内 70 店舗に掲示した。



(5) 青森県観光物産館観光資源紹介事業

① 青い森ホール/360度3Dデジタル映像シアター情報発信事業

本県の四季と祭りを題材にした映像を迫力ある360度スクリーンで上映することにより、新たな観光資源として本県の魅力を発信し、県内周遊の広域化及び再来訪のきっかけ創出を図った。

ア 上映時間

10:00～17:15 まで（最終上映 17:00）1日15回上映

※8/2～7は、夏まつり対応として上映回数を拡大した。

イ 映像コンテンツ

(ア) 3D コンテンツ

○青森祭の魂（約7分）

(イ) 2D コンテンツ

○Beautiful Season of Aomori SPRING（約8分）

○Beautiful Season of Aomori SUMMER（約6分）

○Beautiful Season of Aomori AUTUMN（約6分）

○Beautiful Season of Aomori WINTER（約7分）

○青森祭りの魂（約7分）

ウ 観覧者数 約28,000人

② 季節ごとの館内装飾の実施

エントランスや13階展望台において、季節に合わせ、館内イベントと連携した装飾を行った。



③ ホームページやSNSを活用した情報発信

公式ホームページやSNSを活用し、本県観光情報の発信を行った。特に、春まつり等の主催イベントや週末マルシェ等のイベント情報を中心に、アスパムの集客に繋がる情報発信を展開した。

◆SNSのフォロワー数（令和7年3月31日現在）

※カッコ内は令和6年3月31日時点と比較した増加数

Instagram 13,232人（+1,925人）

X (Twitter) 9,574人（+1,112人）

Facebook 3,102人（+74人） SNS計25,908人（+3,111人）



Facebook



Instagram



X (Twitter)

④ 13 階展望台情報発信事業

13 階展望台への誘客と魅力向上を図るため、コンシェルジュによる観光案内のほか、弘南鉄道株式会社と連携し、りんごねぶたによる装飾を行うなど、お客様の満足度向上に努めた。

◆観覧者数 約 87,000 人



⑤ 主催イベント展開事業

ア アスパム春まつり 2024

ゴールデンウィーク期間中、前半には総勢 46 台のキッチンカーを集めた「KITCHEN CAR FESTIVAL 2024」、後半には青森県産サーモンをテーマとした「あおもりサーモンフェス 2024」を開催し、集客を図るとともに県産食材の PR を行った。また、イベント期間中は 2 階「machicotoba」(マチコトバ) をフリースペース兼カフェとして営業し、イスやテーブルを設置し、連休中にアスパムを訪れたお客様に憩いの場を提供した。

◆期 間 令和 6 年 4 月 27 日～5 月 6 日 計 10 日間

◆来場者 60,435 人



イ アスパム夏祭り

青森県の地場産品を一堂に集めた物産展（42 業者出店）を開催し、夏祭り期間中に本県を訪れた観光客を中心に集客を図った。また、青森大学三味線部による津軽三味線の演奏会を実施するとともに、正面玄関前に大型 LED ビジョンを設置し、本県及び館内店舗の PR を行った。

◆期 間 令和 6 年 8 月 1 日～7 日 計 7 日間

◆来場者 41,163 人



ウ KITCHEN CAR FESTIVAL 2024 vol.5

キッチンカー48 台を集めた県内最大級のキッチンカーイベントを開催し、バラエティ豊かなグルメを堪能していただいた。同時開催された青森朝日放送主催の「ABA 番組祭」では、ステージイベントやアトラクションを来場者に楽しんでもいただいた。

◆期 間 令和 6 年 8 月 24 日～25 日 計 2 日間

◆来場者 33,327 人



エ あおもり肉`（にぐ）のフェスティバル 2024

青森県の食肉文化や県産食材を紹介するため、17 店舗による肉料理の提供をはじめ、青森のソウルフード「棒パン」や人気のキッチンカーを含む 41 事業者が出店。多くの県内外の観光客に青森の食文化をアピールした。

◆期 間 令和 6 年 9 月 28 日～29 日 計 2 日間

◆来場者 12,731 人



オ CHRISTMAS MARKET 2024 in アスパム

冬季における本県への誘客を図るため、大型クリスマスツリーの展示をはじめ、69種類のりんごピラミッド展示やりんごクリスマスのフォトスポットの設置等を行い、より青森らしさのあるクリスマスをテーマに開催した。ドイツ製のヒュッテやキッチンカーにおいて青森県産食材等を使用した各種料理を販売したほか、新規企画として1階イベントホールの外壁部分プロジェクションマッピングを期間中上映した。

◆期 間 令和6年12月13日～25日 計13日間

◆来 場 者 68,248人



カ アスパムお正月まつり

帰省や観光で来県するお客様へ向けて、福袋などアスパムテナント各店で新春初売り企画を実施したほか、県産品が当たるお楽しみ抽選会を開催した。

◆時 期 令和7年1月1日～5日 計5日間

◆来 場 者 11,293人

(抽選会：抽選会利用者1,389人 抽選回数4,744回)



キ アスパム冬まつり

お買い上げプレゼントなどテナント特別企画等により来館者へのサービス向上を図った。同時開催の「イガ米（べい）～きてけフェア」では、中泊町の物産展や金多豆蔵人形芝居の上演、釣りゲームなどを実施した。また、航空路線での交流人口拡大を図るため、神戸の物産展「神戸つながるフェア」や忍者隊による名古屋線PRイベントも同時開催した。

◆期 間 令和7年2月1日～2日 計2日間

◆来 場 者 18,468人

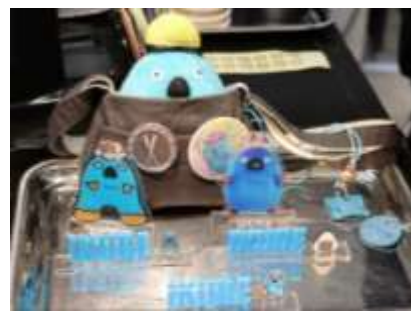


ク いくべえ誕生祭

2月22日のあおもり観光マスコットキャラクター「いくべえ」の誕生日にあわせ、いくべえと県内キャラクターによるステージイベントやオリジナルの記念グッズ販売、マルシェやヒストリー展・メッセージコーナー、ガラポンクイズラリーなど、例年より内容を充実させて開催した。

◆期 間 令和7年2月22日～3月2日 計9日間

◆来 場 者 1,243人（展示のみの期間を除く2月22～23日の実績）



ケ 津軽三味線音色頒布会

本県観光の情報発信と青森県観光物産館の魅力向上を図るため、コロナ禍により令和2年3月から休止していた津軽三味線の無料演奏会をテナント会と連携し開催した。

◆時 期 令和7年1月1日～3月31日の間の土曜日・日曜日・祝祭日

◆内 容 青森大学津軽三味線部、弘前大学津軽三味線サークルほかによる津軽三味線の無料演奏会

◆場 所 1階フォレストステージほか

◆人 数 4,786人



⑥「machicotoba (マチコトバ)」の運営

コト消費の新たな空間として、3名のクリエイターによりアトリエでの制作活動に取り組んでいただいた。また、県内クラフト作家や飲食店の紹介・交流の場としてポップアップマーケット「週末マルシェ」と週末マルシェの拡大版である「グランマルシェ」を開催し、ハンドメイドクラフトやフード等の紹介、さまざまなワークショップの実施による「モノ作り」体験の場を幅広く提案した。出店者登録数は、令和5年度末の300名から令和7年3月末で343名に増加した。

◆実施回数

週末マルシェ 8回（令和6年4・5・7・8・9・11月、令和7年1・3月）

グランマルシェ 2回（令和6年6月・10月）

◆出店者数

週末マルシェ 246店舗

グランマルシェ 167店舗



（6）青森県地場セレクト運営事業

県内外からの来館者に対し、青森ならではのこだわりやストーリー性のある地場産品を紹介・宣伝し、販路拡大とPRを図るとともに、消費者の反応や改良点を生産者にフィードバックし、今後の商品開発に向けた情報提供を行った。

また、事業者と共同開発した新商品「AOMORI スタンド」りんごバージョンの販売を行ったほか、クリスマスマーケットの新たな企画として、クリスマスグッズの仕入・販売を行った。



AOMORI スタンドりんごバージョン



クリスマスグッズ

2 国際交流事業

(1) 国際交流・国際協力等推進事業

① 国際交流ラウンジ管理運営事業（県委託事業）

県民による多様な国際交流を促進するため、国際交流ラウンジにおいて、「おしゃべりサロン」の開催、日本語学習教材や参考資料の閲覧・貸出、在住外国人からの相談対応や国際交流に関する各種情報提供などを行った。

ア 国際交流ラウンジ運営

(ア)「おしゃべりサロン」の開催

県内在住の外国人と地元住民がお互いの文化などの理解を深めるイベントとして「おしゃべりサロン」を定期的の実施した。

- ◆時 期 4月～3月 計5回
- ◆場 所 青森市（青森県観光物産館アスパム）2階
「国際交流ラウンジ」
- ◆参 加 者 県内在住外国人など
延べ11人
- ◆内 容 各種体験（お花見、華道、夏祭り、クリスマス、書道）



【書道体験】

(イ) 国際理解講座の開催

- ◆「世界をのぞいてみよう～韓国・タイ～」
 - ・開 催 日 令和6年7月27日
 - ・開催場所 青森市（青森県観光物産館アスパム）
 - ・参加者数 37人
 - ・内 容 韓国、タイの文化や地域特性の紹介など
- ◆「世界をのぞいてみよう～モンゴル・カンボジア～」
 - ・開 催 日 令和6年11月30日
 - ・開催場所 青森市（青森県観光物産館アスパム）



- ・参加者数 44 人
- ・内 容 モンゴル、カンボジアの文化や地域特性の紹介など

イ 外国人相談窓口運営

県内在住外国人の日常生活の困り事をスムーズに解決につなげられるよう、「青森県外国人相談窓口」を設置し、民間通訳サービスも活用しながら 18 種類の多言語に対応した体制による運営を行った。

また、専門家を集めたネットワーク会議を開催したほか、外国人相談対応のスキルアップを目的とした研修を開催した。

(ア) 相談件数 243 件

【通訳相談員配置による相談体制】

言 語	曜 日	時 間
日本語	火～土	10:00～17:00
英 語	火～土	10:00～17:00
ベトナム語	火	10:00～17:00 (8 月まで)
中国語	火～土	10:00～17:00
タガログ語	火～土	10:00～17:00

(イ) 専門機関ネットワーク会議の開催

- ◆時 期 令和 6 年 6 月 6 日
- ◆場 所 青森市（青森県観光物産館アスパム）
- ◆参 加 者 青森労働局、法テラス青森、青森県弁護士会、青森県司法書士会、青森県行政書士会、青森県社会保険労務士会、青森県、八戸市
- ◆内 容 各外国人相談窓口の状況報告、具体案件の対応検討、意見交換

(ウ) 外国人相談支援スキルアップ研修の開催

- ◆時 期 令和 7 年 2 月 20 日
- ◆場 所 青森市（青森県観光物産館アスパム）
- ◆参 加 者 県内市町村担当者、外国人労働者雇用事業者など 58 名
- ◆内 容 在留資格の基礎知識及び外国人雇用に係る概要説明など

② 民間活動団体助成事業

地域振興に寄与するものと認められる国際活動を行う県内民間団体に対して助成金を交付し支援を行った。

- ◆交付件数 3 件
- ◆交付金額 222 千円

③ 国際交流情報発信事業

会報紙「あおもり国際交流つうしん」の発行や機構ホームページ等により、国際交流等に係る情報発信を行った。

ア 「あおもり国際交流つうしんの発行

◆発行時期及び発行部数

No. 152 令和 6 年 4 月号（発行部数 1,500 部）

No. 153 令和 6 年 7 月号（発行部数 1,800 部）

No. 154 令和 6 年 11 月号（発行部数 1,500 部）

No. 155 令和 7 年 2 月号（発行部数 1,500 部）

◆配 布 先 機構会員・賛助会員、国際交流団体、市町村ほか



【No. 152 4 月号】



【No. 153 7 月号】



【No. 154 11 月号】



【No. 155 2 月号】

イ ホームページによる情報発信

◆閲覧件数 21,969 件（令和 6 年度）

◆内 容 統計・支援情報、イベント告知などの掲載

（2）多文化共生推進事業

① 民間圏域拠点連携推進事業（一部県委託事業）

県内の外国人住民が日常生活及び社会生活を地域住民とともに円滑に営むことができる環境を整備するため、県との共催により国際交流イベントを実施した。

また、県内の日本語教育を推進するため、県内で交流型日本語教室を開催したほか、本県の特性を題材とした県内在住外国人向けの日本語学習教材を作成した。

ア 外国人技能実習生の地域支援促進事業

◆時 期 令和 6 年 10 月 27 日

◆場 所 八戸市（まちなか広場マチニワ、ポータルミュージアムはっち）

◆来場者数 1,323 人（推計）

◆内 容 ブース出展（交流型日本語教室のPR、出張相談窓口など）



【国際ふれあいフェスタ in はちのへ】

イ 交流型日本語教室を起点としたコミュニケーション支援事業

◆交流型日本語教室の開催状況

青森市	24 回	学習者 193 人	協力者 131 人
弘前市	6 回	学習者 40 人	協力者 61 人
十和田市	1 回	学習者 35 人	協力者 18 人
中泊町	9 回	学習者 101 人	協力者 28 人
オンライン	20 回	学習者 34 人	協力者 37 人
計	60 回	学習者 403 人	協力者 275 人（全て延べ人数）



【青森市】



【十和田市】

◆日本語学習教材の作成

県内の在住外国人が日本語を学びながら、青森県について知ることができる日本語学習教材（動画・テキスト）教材を作成し、機構の特設ホームページ内において、自由に閲覧やダウンロードができるように掲載した。



【特設ホームページ】

② 外国籍児童等学習支援事業

「外国につながる児童・生徒」の学習支援に向けて、日本語指導が必要な外国人児童生徒担当教員等連絡協議会に参加したほか、令和 3 年度に設置した「子どものための日本語学習支援基金」を活用し、日本語能力試験等の受験料及び教材の助成を行った。

ア 日本語指導が必要な外国人児童生徒担当教員等連絡協議会の参加

- ◆時 期 令和 6 年 5 月 7 日
- ◆場 所 青森市（県総合教育センター）
- ◆参 加 者 県内の小・中・高等学校の教員及び支援員など 56 名
- ◆内 容 外国人児童生徒に対する日本語指導の在り方に係る協議など

イ 令和 3 年度に設置した「子どものための日本語学習支援基金」を活用し、日本語能力試験等の受験料及び教材の助成を行った。

- ◆受験料助成件数 3 件 12 人
- ◆教材助成件数 15 件 110 冊

③ 日本語学習サポーター等養成事業

県内在住の外国人の日本語学習を支援する人材を育成するため、青森大学との連携により日本語指導サポーター及び日本語パートナーの養成講座を実施したほか、修了者を機構の交流型日本語教室等で活動する日本語学習支援者として登録した。

ア 「日本語指導サポーター養成講座」

◆期 日 令和6年6月29日～9月7日

◆場 所 青森大学 全8回

◆修了者 27人

【参考】日本語指導サポーター

日本語教室等で、外国人住民に対して地域住民と円滑にコミュニケーションができるように日本語の指導やサポートを行う。



イ 「日本語パートナー養成講座」

第1回

◆期 日 令和6年11月3日～4日

◆場 所 十和田市東コミュニティセンター

◆修了者 6人



第2回

◆期 日 令和7年2月8日～9日

◆場 所 青森市（青森県観光物産館アスパム）

◆修了者 15人

【参考】日本語パートナー

日本語を母語（第一言語）としない外国人住民と日本語での対話による交流を行う。



④ 災害・緊急時の滞在外国人支援事業

災害時における多言語支援に向けて、国・地域国際化協会等が実施する研修や災害時対応に係る訓練に参加した。

◆令和6年度災害時外国人支援情報コーディネーター養成研修

令和6年6月20日～21日 総務省自治大学校（東京都立川市） 1人参加

◆令和6年度災害時に外国人支援に従事する関係者向け研修

令和6年8月19日 東京体育館（東京都渋谷区） 1人参加

◆東北・北海道国際化協会連絡協議会による合同オンライン災害対応訓練

令和6年11月5日 オンライン 5人参加

(3) 地域国際化推進事業

① 国際人財づくりと人財ネットワーク化事業

国際交流に係る人財ネットワークづくりを推進するため、県内在住の留学生の交流を支援したほか、国際交流サポーターによる通訳・ホームステイ等のボランティア登録・活動を行った。

◆青森県留学生交流推進協議会（留学生交流ジャンボリー）の助成

第30回青森県留学生交流ジャンボリー（青森中央学院大学） 100千円

◆国際交流サポーターの活動件数 9件（令和6年度）

② 姉妹都市交流その他民間海外交流推進事業

青森県の姉妹都市等に係る交流を推進するため、10月に県が実施した在伯青森県人会創立70周年記念事業に係る取組を県内の関係団体と連携して支援した。

〔収益事業〕

1 青森県観光物産館イベントスペース・貸会議室事業

貸会議室をはじめ、クルーズ船入港時のインバウンド向け臨時出店など、館内の各種スペースの貸出しにより収入の確保に努めた。また、利用拡大を図るため、11～12月に青森県庁及び青森市役所内各課等71か所へ訪問による営業活動を行った。

2 青森県観光物産館テナント賃貸事業

青森県産にこだわった特色ある土産品店（6店舗）と飲食店（4店舗）にテナントとして入居していただき、国内外からの来館者に青森県の物産と食の魅力を提供した。

館内テナントとの連携組織である「アスパムしんこう会」において、アスパム来訪者の購買意欲や満足度向上のための各種取組を積極的に行ったほか、県内企業PRのため、青森県観光物産館アスパム館内外に照明サイン広告等を掲出した。

3 青森県観光物産館駐車場管理運営事業

一般駐車場及び大型車両駐車場等の効率的な貸出しにより、来館者に駐車場所を提供しながら、収入の確保に努めた。

4 旅行業運営事業

県内観光地を貸切りクシーで巡るプランを旅行商品として造成し、自社ホームページ及びOTAで販売したほか、青森ねぶたの海上運行・花火大会をアスパム会議室から鑑賞できる旅行商品やクリスマスマーケット会場に設置した個室空間（クリスマスラウンジ）で県産食材を使った料理を楽しめる旅行商品を造成・販売した。

◆造成商品数 31 商品（うち受託販売商品数 8 商品）



海上運行前のねぶた師による解説



クリスマスラウンジ

令和6年度 青森県観光物産館アスパム 利用状況

[令和6年4月～令和7年3月]

単位：人・千円（税込）・%

区分	元年度	5年度	6年度	増減	対前年比	備 考
				6年度－5年度	6年度/5年度	
総利用者数 (人)	1,277,409	1,275,456	1,303,535	28,079	102%	4月～7月は、5年度に実施された「全国旅行支援」の影響も若干みられたが、インバウンドを含めた旅行マインドの上昇や旅行需要の回復、主催イベントや周辺イベント、青森ねぶたまつりの開催、大型客船寄港などにより、利用者は順調に推移した。
有料 入館者数 (人)	65,521	78,152	86,686	8,534	111%	アスパムへの来館者増加とあわせ、1階に掲示した観覧コーナー紹介表示の効果もあり、有料観覧者数・観覧料収入とも増加した。
観覧料収入 (千円)	29,220	36,599	39,791	3,192	109%	
物販・飲食店 総売上 ※直営店 含む (千円)	855,601	1,125,713	1,151,532	25,819	102%	アスパムへの来館者増加に伴い、直営店をはじめとした物産店・飲食店の売上も増加した。
直営店 「青森県地場 セレクト」 売上 (千円)	52,642	60,955	65,574	4,619	108%	
会議室収入 (千円)	43,911	46,296	44,048	△ 2,248	95%	4月は、対前年比で131%となったものの1階イベントホールと会議室全室を併せて利用する大口利用がなかったことに加え、例年7月・9月・2月に利用している団体の使用会場数が減少したことから累計では対前年比95%となった。
駐車場 全体収入 ※月極等含む (千円)	52,506	52,839	53,284	445	101%	①一般駐車場収入は2月の会議室利用減による落ち込みの影響もあり、累計では前年比96%となった。②月極駐車場収入は契約台数の増加もあり同102%となった。③大型車両駐車場収入は夜間一泊の利用増加により同104%となった。駐車場収入全体（①＋②＋③）では前年並みの101%となった。